キャラクター名: フィオナ

プレイヤー名:

種族	ヴァルキリー	種族特徴	戦乙女の光羽、戦乙女の祝福		
生まれ	戦士	性別	女性	年齢	17（永遠の17）
冒険者Lv	2	経歴	大恋愛をした		
経験点	0		大きな失敗をした		
			伴侶がいた		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	9	器用度	7			16	2
		敏捷度	6			15	2
体	10	筋力	9			19	3
		生命力	7			17	2
心	7	知力	6			13	2
		精神力	9			16	2

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	2		
レンジャー	1		
エンハンサー	1		

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	2	4	4	5
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	スプリントアーマー		15		5
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値		4	5

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
バスタードソード	2H	17		2d+ 4	10	5	27										
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□

○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□
○□□○□□

所持金 120 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	15 m	45 m

回避	防護点
2d+ 4	5

HP
23

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/×	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 4	2d+ 4

MP
16

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

戦闘特技

全力攻撃	IB36 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術

ビートルスキン	

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 0 /合計 0

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中	
右手	
腰	
足	
その他	

装備品	説明
左手	

その他メモ

私はヴァルキリー名前などない。強いて言うならフィオナだ。私は以前、人間の娘、フィオナとして存在していた。
当時、住んでいた村の青年に恋をし、婚約をした。婚約をした翌日、その青年は国から徴兵をうけ、戦地へと出兵した。
私はその青年の帰りを待ち続けた。青年が出兵して三ヶ月くらいたったときだったろうか。季節は冬となり、木々の葉はすべて散り、寒々としていた。家のドアをノックする音が聞こえ、私はそのドアをあけた。「やっとのことで青年が返ってきたのだろうか」、淡い期待を胸にしドアをあけた。ドアをあけると、軍服をきた男が一人いた。その男から手渡されたのは赤い紙。「わかっていたのだ、青年から連絡がない時点で、こうなるということは」私は膝を地面につき、崩れてしまった。

寒い日だった。私は青年とともい生きようと思っていたのだ。自分の人生を……。私は木にロープをひっかけ、輪をつくり、その輪に首をかけた。寒い日だった。

目をさますと、自分の周りには花が待っていた。ここは御伽話にある天界、ヴァルハラ？

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟